

★すべてアンケートの表記のままです。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年4月

事業所名 児童発達支援センターすくすくのびのび園

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	39	2	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋割り表を活用して使用する部屋を割り振りしている。 ・もう少し広いとより使いやすいと考えられる。 ・利用希望者が増えている中、スペースに合わせて制限しているところもあるかも。 ・他施設より恵まれているが、身体を動かすには療育室は狭い。 ・広すぎる場所もあるが程よい広さ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が増えているので療育室だけでなく、共有スペースである運動用の遊戯室等やサーキットルームもチーム間で時間調整しながら利用するなどして、活動が制限されないようにしています。 ・近隣の区立公園も活用しています。
	2 職員の配置数は適切である	30	11	<ul style="list-style-type: none"> ・より手厚く考えると適切とは言えないが、常に役割や対応について声掛け合い、利用者への対応に不備のないようにしている。 ・相談支援事業、保育所等訪問支援事業において滞りが生じている。 ・増え続ける相談や療育利用者への対応を手厚く行えるよう心掛けていますが、今後の運営の準備や事務を担当する職員の養成などにも、配置を振り分けることが課題と思う。 ・早急に不足している人員を配置すべき。または業務を見直す。 ・欠員の職員がずっといる分、ほかの職員に負担がかかってしまっている。 ・欠員があまり改善されない。 ・適切なかもしれないが、ケース数の多さが業務量に影響していると感じる。 ・チーム担当職員が不在になるときは他チームやフリー担当が入っている。 ・マンツーマンor子ども2名に対して大人1名の割合で行っている。 ・もう少し職員が多いとよい。 ・職員の配置は他施設より多いが会計年度任用職員は毎年退職が出ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・条件にあった応募者が無いため欠員がりましたが、支援事業全体でカバーしやすい体制を組みました。 ・欠員が生じた状態で新年度スタートとなってしまった場合には、フリー職員等でカバーしながら、できるだけ早期に欠員補充を図っています。どのチームの運営にも応じられるようフリー職員が務めています。 ・利用者数の増加に伴う業務の増加については、職員配置と業務改善の双方の面からより良い運営となるよう努力を続けています。 ・職員の異動、退職については、特定の職員に負担がかからないように運営方法の改善や支援技術の共有に取り組みより良い支援を提供できるように努めています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	39	2	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の構造はバリアフリーと言えないが、療育室は、クラスやお子さんの特性に合わせて日々レイアウトを変え、配慮されている。 ・療育室は良いが、保護者向けの情報伝達に関しては工夫の余地があるように思う。 ・階段が高い。 ・エレベーターや手すりがある。 ・バリアフリーには力を入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・元々児童用の施設ではなかったこと、老朽化がみられること等制限があるので、限られた条件ですが安全、快適に過ごせるよう配慮を継続します。 ・情報伝達の配慮は、英文での連絡、必要な場合は通訳の手配を行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	41	0	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもきれいにすることを心掛けている。 ・毎日の清掃と消毒をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員で感染症拡大防止対策に積極的に取り組んでいます。 ・清掃業者との連絡を密に行っていますが、今後も継続します。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	38	2	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し振り返りをする時間を設け、職員間で共有できるとよい。 ・日々の振り返りと打ち合わせを行っている。 無回答1(わからない) 	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAを意識した打ち合わせを意識していますが、チーム、個人により受け止め方が異なる点は全体での共有を図っていきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	41	0	<ul style="list-style-type: none"> ・心掛けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の皆様の意見とそれに応じて改善できる事項を資料とし、具体的に日々の業務に生かせるよう取り組んでいます。このプロセスを全体で共有することが今後の課題であると理解しています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	41	0		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで公開するとともに、保護者懇談会等で業務改善内容等について説明しています。この内容とプロセスについて、限られた業務時間の中でいかに職員間でより一層周知・共有していくか工夫を続けます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	41	0	<ul style="list-style-type: none"> ・評価結果の報告会に多くの職員が参加できた。どのように活用するかが課題である。 ・結果はつなげる方向でいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価結果から課題を抽出し、職場内研修や職員会議で取り上げ業務改善へつなげていきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	39	2	<ul style="list-style-type: none"> ・内部、外部共に機会を設けている。 ・少ない(2名) ・職員が研修に出やすいよう、お互いに助け合って体制に必要な人員を確保している。 ・コロナ禍で外部講師をお呼びする研修は難しいが、各個人が外部研修情報を得られるような配慮はある。 ・研修の機会はあるが業務が多くて行きづらい。難しい。 ・もっと多くの研修があってもよいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の参加しやすい時期や時間帯に配慮し、職場内研修を実施しています。 ・経験豊富な講師や職員の知見を活用し、職員が参加しやすい時間帯の研修を今後も続けて参ります。 ・外部研修は参加しやすい時間帯とは限らないため、受講する職員を送り出す体制を組みます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	39	1	<ul style="list-style-type: none"> ・常に話し合いを行っている。 ・チーム全体で話し合いをして作成している。 無回答1 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様一人ひとりにかかわる様々な職種の職員が協力しチームとして計画を作成しています。ニーズの把握や支援の遂行についても、多職種の視点で考察しています。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	34	6	<ul style="list-style-type: none"> ・使用している人といない人がいる。 ・発達検査だけでなく、指導員も自分で扱えるようなツールがあってもよいか? ・標準化された検査を行っている。 無回答1 	<ul style="list-style-type: none"> ・心理職員が実施する発達検査に加え、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が専門分野についてお子様の状況を把握し、クラスの職員も含めチームで共有しています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	37	3	<ul style="list-style-type: none"> ・全員にできているか不明 ・具体的にできるようにしている。 無回答1 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインの周知、理解、徹底、実践での活用については今後も取り組んでまいります。特に保護者に対しても、児童発達支援ガイドラインから支援内容の項目を選択していることを説明してまいります。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	40	0	<ul style="list-style-type: none"> ・行う努力をしている。 無回答1 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのお子様についても、支援目標をチームの職員全員で意識できるよう、日々の療育の振り返りを行い、達成点と課題を把握し、次回の活動に反映できるよう努めています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	40	1	<ul style="list-style-type: none"> ・チームでまず立案の前に話し合いはする。 ・日々打ち合わせをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスごとの活動案は最終的に療育会議の場で全体で確認し、内容を共有できるようにしていますが、今後も継続していきます。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	40	1	<ul style="list-style-type: none"> ・できる限り行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム内の検討に加え、チームを超えて療育会議で検討することで、内容が固定化しないように努めています。
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	40	0	<ul style="list-style-type: none"> ・状況、クラスのカラードに合わせている。 無回答1 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発達段階や課題に応じ、個別に活動できる部分と、小集団での活動を組み合わせた計画を作成しているため、継続します。 	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	41	0	・打ち合わせの時間を多く持っている。	・当日のプログラムの活動内容ごとに子どもの座席の位置や教材の掲示の順番、タイミング等を資料化し、職員間でその日の活動の意図を十分把握してから療育に臨むようにしています。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	41	0	・より保護者・利用者が受け入れやすいか考える。 ・日によって、当日の療育の打ち合わせで、前回の振り返りを行う。	・複数の職種の職員でチームを構成し支援していく方法が当園の方針です。この方針に沿って様々な視点で支援を振り返り、評価し、次の活動に生かせるよう取り組んでいます。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	41	0	・記録はマメにしている。	・その日の活動を振り返りながら記録をつけ、時間の効率化を図るだけでなく、チーム全体の検証と改善案を反映できるような記録作成を心掛けています。
	20 定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	39	2	・家庭訪問や母集団、サービス事業所にてできる限り直接行き、モニタリングを実施している。 ・保護者や事業所とのモニタリング時に、ニーズを把握し進めている。 ・日々行っている。	発達支援事業では活動終了後の短い時間を活用し、保護者と当日の活動の手ごたえや感想を聞き取っている、また年2回の面談でも、支援に対する意見や希望を聞き取るようにしている。
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	40	1	・ほぼセルフプランなので、サービス担当者会議がほとんど行われていない。	・児童発達支援センターとして併設の相談支援ひまわりと連携し、サービス担当者会議の充実を図り、お子様の支援に反映させるよう取り組んでまいります。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	41	0	・必要に応じて情報共有、連携を図っている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	39	1	・直接はできていない。 無回答1(専門外なのでよくわからない。)	・医療的ケアが必要なお子様はサービス利用計画の作成をお勧めし、関係機関との連携や会議等必要に応じて開催しています。今後もこれを継続してまいります。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	37	2	・連絡先は把握しているが、連絡体制は取れていない。 ・意見書や指示書に基づいて対応ができるようにしたい。 無回答2	・連絡体制を整えていますが、個人情報も含まれるため情報の共有は必要な職員のみとしています。個人情報や保護者のお気持ちへの配慮と、園として医療的ケアが必要なお子様への理解や対応のスキルアップの方法を含め一層検討してまいります。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	40	1	・保育園訪問、協議など保護者から希望があれば対応し、情報共有している。 ・電話等によるやりとりだけではなく、直接園や学校に向いて児童の実際の様子を共有している。 ・全員はできていない。 ・園訪問や電話での情報共有を図っている。	・発達支援事業の職員が引継ぎや訪問を実施することは、限られた業務時間では日時の調整等難しいこともありますが、文書や電話等の活用を含め柔軟に考え、相互理解を図ることを続けます。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	37	2	・電話等によるやりとりだけではなく、直接園や学校に向いて児童の実際の様子を共有している。 ・特別支援学校とは行っているが、地域の小学校とは行っていない。 ・保育所等訪問支援事業を通して行っていると思う。 ・就学支援シートの利用 無回答2	・これまでは感染症対策のため件数は少なめですが、就学先との連携は希望に応じて実施しています。 ・保育所等訪問支援事業も開始したため、発達支援事業での移行支援と合わせて保護者の皆様にお伝えしてまいります。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	33	7	・他自治体の発達支援センターの研修や公開療育に参加している。 ・ほかの職員は行っていると思うが自分自身はなかなかその余裕が無い。 ・今まさに取り組み始めたばかりなので、今後もっと力を入れていきたい。 ・個別のケースにより、必要に応じて行っているように思う。 無回答1	・感染症対策を求められる状況のためオンライン研修も含め、都、他区、専門的機関での情報収集と研修受講を継続します。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	18	22	・目黒区はどの児童もほぼ幼保と併用利用が可能のため、現在は要望や必要性は感じていない。 ・併用園のある子が多いので、すくびにはあまり求められていない役割のように思われる。 ・交流する機会はないが、通園するほとんどの児童が母集団(日常的に通う幼保、こども園のこと)を利用している。(2名) ・在籍園の先生との連携はされているが、子ども同士の交流の機会はないと思う。 ・なるべく機会を多く持った。 ・ほかの職員は行っていると思うが自分自身はなかなかその余裕が無い。 無回答1	・通所されているお子様の多くは保育所やこども園等を利用し、交流している実態です。 ・同時に保護者様と地域でどのような交流を希望されるのか、意見交換していくことも大切だと受け止めています。 ・お子様が未就園の場合は就園や地域交流のご相談に応じます。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	34	6	・参加することにより得るものが多いので、参加できる体制を捻出している。 ・ほかの職員から参加の様子を聞くことで情報を得るようにしている。 ・一部の職員のみ参加 無回答1	・相談部門職員が積極的に参加しています。地域の子どもたちを取り巻くこととして、職員全体での共有を一層図ってまいります。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	41	0	・面談以外でも療育中に伝えあう努力をしている。 ・共通に伝えていく。	・保護者の皆様のお話の内容により、各職種の職員がお話を伺いお子様に関する共通理解を図っていますが、一層共通理解を持てるよう取り組みます。
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	39	2	・実施できているが、希望者に対し受け入れられる人数に限られるので、間口を広げることが課題である。(3名) ・対象者は限定しているが、実施している。 ・正式なペアトレは限定された人数の保護者にしか提供できないので、エッセンスをほかの保護者に伝えられるシステムがあるとよい。 ・広く周知はされていない。 ・希望しても人数の関係でなかなか受けられないことがある。 ・支援をする努力は行う。	・職員が家族支援の重要さとスキルを学ぶと同時に、保護者自身が日ごろの児童への関わり方について振り返り、児童の望ましい行動を引き出していくためのペアレントトレーニングについてさらに学ぶ機会を設けることに努めます。	
32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	40	1	・オリエンテーションで伝えている。 ・丁寧すぎるくらいに伝えている。	・入園オリエンテーションや契約締結時の説明、自己負担分請求時など、配付物も用いて丁寧な説明を心掛けています。	
33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	40	1		・個別支援計画の面談の際に、各職員が児童発達支援ガイドラインに基づく計画であることと、内容を漏れなくご説明できるよう今後も継続します。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	40	1	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な相談に加え、ニーズがあればその都度相談を受け付けている。 第三者評価で職員サイドは多くの職員が相談に応じていると評価しているが、保護者の評価は職員より低かった。この認識のズレが今後の大きな課題だと思う。 心理の方にも声をかけて行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期面談を実施しています。他にも電話、お手紙なども含めタイミングを逃さずご相談に応じることを続けてまいりました。しかし、第三者評価の結果を真摯に受け止め、保護者のご要望やお気持ちの本質を見落とすことの無いように取り組みます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	39	2	<ul style="list-style-type: none"> センター全体として行っていると思う。 コロナ禍で保護者同士が集える場を提供しにくくなっている。 コロナ禍で疎かになりがちなので、より意識して取り入れねばならず、現状として十分に組み込んでいるとは言い難い。 感染症対策のため、多くの機会を設けることができていないが、これらに変わる案を検討しているところである。 	<ul style="list-style-type: none"> 父母の会の活動は感染症対策のため制約がありますが、ZOOM研修開催の際の講師の紹介など可能な形でサポートを続けています。 感染症対策と保護者の皆様の交流の場の確保の両立を図れるような取り組みを実施します。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	41	0		<ul style="list-style-type: none"> 今回の自己評価で保護者様と職員のギャップが大きいことをしっかり受け取め、相談しやすい、いつでも相談できる体制を見直します。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	41	0	<ul style="list-style-type: none"> 園日より、クラスだよりを毎月発行している。 	<ul style="list-style-type: none"> 入園オリエンテーションや契約締結時の説明、自己負担分請求時など、配付物も用いて丁寧な説明を心掛けています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	41	0	<ul style="list-style-type: none"> ダブルチェックするなど注意を払っている。 全職員が年2回以上研修を受けている。 行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画の面談の際に、各職員が児童発達支援ガイドラインに基づく計画であることと、内容を漏れなくご説明できるよう今後も継続します。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	41	0	<ul style="list-style-type: none"> よりきめ細やかな配慮を心掛ける必要はある。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期面談を実施しています。他にも電話、お手紙なども含めタイミングを逃さずご相談に応じます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	21	20	<ul style="list-style-type: none"> 通園する方にとっての個人情報保護の観点から開放などは行っていない。 イベントスタイルで実施していたが、感染症拡大に伴いリストブックの発行のみになっている。Withコロナの状況で開催できるスタイルを提案する必要がある。 コロナ禍で制限はあるものの、HPで事業所リストブックの更新をしている。 開かれた園行事を行っていない。(正当な理由があつたことと思う。詳細は専門外なのでわからない) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の保護者、事業者、学校関係者、関係機関などが一堂に会するイベントを継続してきました。感染症流行期は一時中止しましたが、開催できる形を検討してまいります。 冊子発行や目黒区のホームページでの情報発信も継続してまいります。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	39	2	<ul style="list-style-type: none"> 保護者に対しては実施していない？ 災害訓練は実施しているが、不審者等を想定した防犯訓練は実施されていない。 防犯マニュアルがあるのか不明 「はい」であるが、マニュアルの見直し、整備は継続的・定期的にせねばならない。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策についてはマニュアルを整備、更新し訓練を実施しています。 他のマニュアルも策定していますが、事業継続化計画に取り込み、更新していくことを課題にしています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	41	0	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練は実施している。 行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 欠席等のため訓練に参加できない場合のフォローを具体化します。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	41	0	<ul style="list-style-type: none"> 研修を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康や体調に不安のあるお子様については、医療機関からの情報も含め丁寧に伺い、関係者が把握しています。安心して活動していただけるよう今後も継続します。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	41	0	<ul style="list-style-type: none"> 行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示書に基づき、栄養士、クラス職員をかなめに厨房と確認することを継続します。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	39	1	<ul style="list-style-type: none"> 共有できていて、朝会でも伝えている。 「はい」であるが、非常に限られていると思います。 無回答1 	<ul style="list-style-type: none"> 全職員が危機管理の意識を持てるようなヒヤリハット事例集の作成を検討しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	38	3	<ul style="list-style-type: none"> 区主催の虐待防止研修に参加している。 特別ここのための研修というよりは、日々の振り返りで行っていると思う。 対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> 対応が難しいお子様にも、職員が協力しあい適切な対応ができるよう職員の育成を継続します。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	35	5	<ul style="list-style-type: none"> 「はい」であるが、児童・保護者への事前の十分な説明だけでなく、具体的に起き得そうな状況を保護者と話し合っ確認する手順も、場合によっては必要と思われます。 専門外なのでよく分からない。 行っている。 無回答1 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の皆様には契約の際に、職員には研修を利用して説明しています。権利擁護の視点から一層の定着を図ります。